



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

町づくりアンケート実施へ

課題あぶりだしみんなで克服 協働型の地域自治実現めざす

自治連は、分権型社会の実現に向けた草津市の「市民と行政との《協働》によるまちづくりの展開」を受け、住民主体の地域自治に取り組む第一歩として「住民によるまちづくりアンケート」の準備を進めていきます。

「協働」とは行政学の用語で「地域住民と自治体職員が協力して自治体政府の役割を果たしていく」という概念を表す造語です。具体的には、市民センターを核とした地域自治の機能を強化し、協働のまちづくり協議会等により、市民と行政が協力して、地域特性を生かした「安全

で安心して暮らせる魅力あるまちづくり」を目指すものです。分権が進んでいく社会では、地域のことは住民自らの手で行っていく住民主体の地域自治が求められます。最終的には、現在、市が行っている住民サービスの一部にかかる権限と財源を地域に委譲し、「協働のまちづくり協議会」（仮称）が地域自治を担うこととなります。

当地域では、NPOや各種団体によるボランティア活動などを通してみんなで助け合う町づくり活動が根付きつつあります。平成18年度には住民の意思に基づき「地区計画」を導入、「町並み保存委員会」を設立して良好な町並みの維持に努めています。また、「わが町志津南ニュース」と電子情報媒体「若草ネット」による地域情報の発信も行っており、住民自治に必要な土壌はできています。

今後は市民センターとの関係をもより密にしていこうと、平成21年度には「志津南まちづく

り協議会検討委員会」を立ち上げ、関係諸団体等の協力を得て、これからの地域自治の仕組みを検討していく考えです。

しかし「志津南まちづくり協議会」（仮称）を発足させるにしても、新たな地域コミュニティ組織の仕組み、既存の自治会などとの役割分担、これからの町の課題、町づくり活動の重点活動の拠点整備などを検討し解決していかなければなりません。

こうした活動のベースを確立するため「町の住環境」「自治会活動」「地域活動」「地域防



ふれあいコンサート

本物の音楽楽しむ

志津南地区青少年育成区民会議は10月24日、第2回すこやかセミナー「ふれあいコンサート」を志津南小学校でを開催、全児童253人と保護者ら56人が参加しました。

同小学校の公開授業の一環として開かれたもので、保護者、地域の方と一緒に子どもたち「本物の音楽にふ

れあおう」との先生方の願いがかなって、「しがマジカルサウンド」のみなさんを招いての開催となりました。

コンサートホールとなった体育館には聞きなれた曲の美しい歌声がこだまし、迫力ある楽器の演奏が子どもたちをひきつけました。

また、児童2人が指揮者の体験をさせてもらうなど、音楽の楽しさを存分に味わうことができたことと思います。

(青少年育成区民会議会長 今大路清子)

自治連会議録

第7回(11月1日) 小路小 昭野山製鉄遺跡炭窯跡撤去の旨、回答を了承。自主防災連合会が11月末に、自治連合会が1月末に全世帯を対象にアンケート調査を確認。秋の一斉清掃は11月23日(日)8時30分から、ソフトボール大会は同日10時30分からの開催を申し合わせた。平成21年度各町内新役員は12月末日までに選出を終えることを確認。平成21年度各町内会の総会は3月21、22日の両日開催。29日に自治連総会を開催することを決定。

犯活動」「協働のまちづくり」などについてアンケートを行うこととしたものです。

住みたいと願う誰もが住み続けられる福祉の町実現のためアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

(自治連合会)

おにぎり持って秋の道

協働合校が親子ハイキング



ぶとうは既に収穫済みでしたが、昼食までの間に、工場でワインの仕込みやびん詰め作業などを見学しました。タンクをのぞき込んだ子どもたちは「匂い、すごい」と

ももたちは「匂い、すごい」と

鼻をつまむかたわらで保護者らは「いい香りですねえ」。
昼食は持参したおにぎりや炊き出しの豚汁でしたが「野菜がいっぱい」「おいしい」「3杯もおかわりしたよ」と満足気、どう棚の風景もご馳走になったようです。
午後は、全員でビンゴゲームなどで楽しんだあと、来た道をたどりました。
準備や当日の同行、炊き出しなどにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

ハロウィンでカレー作り

子ども会が収穫米提供

地域の人たちと一緒に手作り料理とパーティーの飾りつけを楽しみながら、子どもたちに分で考え、行動し協調する大切



さを学んでもらおうという「ハロウィン交流クッキング」が10月11日、市民センターで行われ、子ども47人、保護者、サポーターら18人が参加しました。
子どもたちは、2つのグループにわかれ、サポーターの指導に従って、それぞれかぼちゃカレー、かぼちゃクッキーづくりそして会場の飾りつけに取り組みました。
かぼちゃカレーのお米は志津南地区の子ども会が田植えから稲刈りまでの体験実習したお米を提供していただきました。

老化と食事の関わり学ぶ

介護食の作り方を実習



最後に飾り付けが終わった大会議室に参加者全員が集合、自分たちで作ったカレーに舌鼓をうっていました。中にはお代わりをする子も出るほどで大好評でした。
お腹がふくれたところで、魔

「介護食ってどんな食べ物？作るのって大変？」
こんな人たちの声に答えて、

志津南地区健康推進員は9月2日、管理栄養士の市木圭子さん、山本陽子さんを志津南市民センターに迎えて「介護食講座」を開催しました。写真。
お二人の体験話と高齢者の好きな献立「鯖のまぜ寿司」、「白身魚のけんちん焼き」、「かぼちゃだんごのあんかけ」、「ココアブラマンジェ」を調理実習。

女に扮したサポーターが登場、子どもたちにお菓子を振る舞いました。
子どもたちは、お菓子や自分たちでつくったカレー、クッキーを楽しみ思い出としてくれたようです。

でき上がった普通食の一部をほくし食、きざみ食、ペースト食にして全員で試食しました。
参加者からは「先生のお話がとても分かりやすかった」、「お寿司がおいしかった」、「もっと介護食を勉強したい」など、うれしい感想が聞かれました。
消化のよい物を中心に食物繊維の多いものや大豆、卵、白身魚など良質のたんぱく質の摂取など、老化と食事のかかわりを理解し、高齢者の食事作りに関心がよつと話合いました。
(志津南地区健康推進員)

子育て論議熱く

志津南公民館は9月24日、第2回家庭教育支援講座を開催子育て真っ最中の若いお母さんから親子39人が参加しました。「親子のふれあい」をテーマ



に、「キッズ・いわき・ばふ」の岩城敏之さんを講師に迎え、年齢や育ちにあわせた絵本やおもちゃの選び方、子どもとの会話、接し方、しかり方などを聞きました。写真。
岩城さんは話の中で「豊かな育ちのために親は何を手助けすべきなのか、自分だけでなく周りの子育てにも実践する」必要性を説く一方、トラブルの時は「大丈夫、とひと声かけて親子とも落ち着く」と訴えました。
質問コーナーでは離乳食中のお母さんが「ダメをどのように教えた方がいいのか」、また二児を相手に奮闘中のお母さんからは「お兄ちゃんとの接し方はこれでいいのだろうか」など、子育ての悩みを相談したり、アドバイスを熱心にメモする姿や参加者同士で意見交換する場面が見られました。

途中、馬場町の民家の空き地を借りて小休止、葛蒲の郷でトイレ休憩をとったりしたりしながら、知らなかった道を歩きながら、紅葉の始まった野山の赤く色づいた柿、初めて見たソバの実、風に揺れるススキなど秋の風景を堪能しました。予想以上のペースでワイナリーには予定より早く到着しました。

志津南地区地域協働合校推進委員会は10月25日、「親子ふれあいハイキング」を実施、9組23人の親子とボランティア合わせて30人が栗東までの往復10*の道を歩き、さわやかな汗を流しました。
秋晴れに恵まれたこの日、志津南小学校に集合して軽く準備運動を済ませた後、午前9時に出発。目的の栗東市のワイナリーを目指しました。

こぼみ

- 11月19日(水) 教養文化講座 (ENJOY MY LIFE) 13:30~15:30
 - 11月22日(土) 平和祈念講演 9:30~ 社会福祉協議会 ふれあいお茶会 10:00~ ボランティア泉
 - 11月23日(日) 一斉清掃 8:30~10:00 福利環境部会 ソフトボール&ワンツースhoot大会 10:30~ 志津南小学校 体育振興会
 - 11月26日(水) やすらぎ学級 13:30~17:00
 - 11月27日(木) ヘルスサポーター養成講座 健康推進員
 - 11月28日(金) 公民館の一斉清掃&防災避難訓練 市民センター
 - 11月30日(日) グラウンドゴルフ大会 8:30~ 若草中央公園 社会福祉協議会
 - 12月5日(金) ふれあい昼食会 12:00~13:00 定例健康相談日 9:30~12:00
 - 12月6日(土) 福祉懇談会 10:00~12:00 社会福祉協議会
 - 12月13日(土) わんぱくプラザ南っ子 9:30~12:30
- 若寿会：
・健康ウォーキングは毎月第1・第3土曜日
・奉仕作業は毎月第4土曜日
・とも8:45若草中央公園集う
地域サロン：懐メロ日曜日
毎月第2・第4火曜日
10:00~11:30 市民センター
印の会場は志津南市民センター(公民館)です。

ふれあいバスツアー



京の河村能楽堂訪問 能の世界を垣間見る

ボランティアアグループ泉は10月24日、高齢者ほのぼの支援事業「ふれあいバスツアー」を実施しました。参加者34人はあいにくの雨模様の中、こやかに京都へ向かいました。

今回は京都御所近くの河村能楽堂を訪ね、古典は難しいと思いがちな能楽を解説してもらう

ことにしました。ここが600年余も続く重要無形文化財保持者観世流の住まいとは思えないほど静かなたたずまいの町屋。奥座敷へ進むと立派な松皮葺の屋根、それを支える4本の柱、磨かれた床など、総檜造り能舞台が眼に飛び込んできました。

また300万円もする縫い取りの能衣装が重さ10kgもあると聞いて驚いたり、実際に能面

をつけるなど貴重な経験をした参加者は満足そうでした。河村さんの楽しい講座が終わる頃にはすっかり秋晴れとなり

中部空港や酢の里見学 やすらぎ学級が館外研修



秋晴れの10月22日、やすらぎ学級生22人が館外研修、充実感たっぷりの日を過ごしました。

まず、常滑市の中部国際空港セントレアへ行き、見学ツアーに参加しました。国際空港という高い機能を持つ一方で、通路の所々で目にするインテリアやアートは現代的な和の装いが凝らされており、心むたーミナルビルという印象でした。

またスカイデッキからは国際線の彩り豊かな航空機が並び、心を海外に馳せていました。

食事後は博物館「酢の里」写真の見学。少し強行軍でしたが、江戸時代から今日までの酢づくりの様子を見たり、酢の

しばし高瀬川沿いをそぞろ歩きするなど、秋の一日を十分楽しみました。(ボランティアグループ泉)

グラウンドゴルフで健康に 新サークルが活動開始



グラウンドゴルフを楽しむ会員

効用や使い方を聞いたたりして、改めて酢の隠れた力に驚かされました。水郷にたたずむ「酢の里」を

後にした帰路、御在所サービスエリアに立ち寄り、お土産を手に無事市民センターに帰着しました。

志津南地区社会福祉協議会が地域の高齢者、ニュースポーツ愛好家の福祉と健康推進、交流を図ろうとグラウンドゴルフサークル「若草一味クラブ」(奥田隆三代表)を9月にスタートさせました。

全体競技会を予定しています。生涯スポーツとして人気の高いグラウンドゴルフはルールが簡単で用具もシンプル。しかも老若男女のスコアに差がつきにくく、中央公園でプレーすれば気分も爽やかです。また初心者(初参加)についてはクラブとボールは社協で準備をしています。ですので、気軽に参加できます。

健康維持、ゲーム性、人との交流の中で、仲間と一緒にワイワイ言いながらこれからの人生を楽しみましょう。自分もやってみようと思われる方は、男女を問わず、次の地域役員に気軽に相談して下さい。

- 須田圭二(1丁目) 林茂(2丁目)
 - 小早川勝康、松田健二(3丁目)
 - 奥田隆三、杉田朋子(4丁目)
 - 和田基、海部三徳(5丁目)
 - 川井堅二、松原繁男(6丁目)
 - 小林広子(7丁目)
- (須田圭二)

サウズワ歳

スタイルエクサと聞いて何を想像しますか？

ダンス、ストレッチ、ヨガなどを思い浮かべる方も多いだろうが、スタイルエクサ、つまりスタイル・エクササイズはその全ての要素を取り入れ、骨盤の歪みや肩こりなど、身体の悩みを解消してくれる、なんともありがたい体操なのだ。

「ボコ・ア・ボコ」(スペイン語でちょっとずつの意)の教室でやっているのはコレ。

練習日の9月上旬、志津南公民館ホールで行われた練習をの

テンポよく切れのある動きが楽しい



ぞいてみた。多く曲間の休憩はほんの数秒。

の女性が指導にあたるKEIKO(石田恵子)さん

持参のラジカセから流れる軽快な音楽に乗ってレッスンに励んでいる。なんだか映画「ウエストサイド物語」のワンシーンを

よく見ているとテンポが早い上動きが結構複雑だ。「これがなかなか覚えられなくて」(45

ボコ・ア・ボコ

肩こり、腰痛に効き目

「ボコ・ア・ボコ」というのも無理はない。そこへ「かかとを押し上げて」「足を曲げないで」と声が飛ばから大変だ。

簡単そうな動きでも体の節々を伸ばす運動は体力を消耗するの、繰り返すうちに参加者のTシャツに汗がにじんでくる。

細身のKEIKOさんにならって汗だくになりながら体を動かしている女性たちはどこか楽しそうだ。

このサークルが発足したのは2年前の5月。代表の木村晶代さん(8丁目)が知り合いのKEIKOさんに声をかけ、健康のために始めたそう。現在は40代を中心に約30人、中には60代の方も参加している。始めた理由は人それぞれだが、やはり「健康維持」や「ダイエット」が多い。

「始めて数カ月は効果が分

らなかつたけど、今年に入ってから「キリやせました」と話すのは川田敦子さん(48歳、岡本町)。

そればかりではなく、手も上がらないほどの肩こりや頭痛に悩まされていたのが、解消したという。やせることに關しては個人差もあるが、肩こりや腰痛の軽減はほとんどの参加者に共通した効果のようだ。とにもかくにも「体が丈夫になった」と全員が顔をほころばせる。

どんな人にも身体の悩みはつきもの。普段何気なく生活している中で体に歪みができているのかもしれない。スタイルエクサを通して楽しく、歪みを矯正でき、なおかつダイエットにも効果的なら女性にとっても男性にとっても(？)これ以上結構なことはないに違いない。

(龍谷大学 長谷川亜美)

代表 木村 晶代
役員 30人
活動 毎水曜日
午前10時～11時30分
場所 志津南市民センター(館)
会費 月額2000円
連絡先 木村代表
電話(562)9181

パソコン講座受講生募集

志津南市民センターではパソコン講座参加者を次の要領で募集しています。

エクセルで「予定表」づくり
日時 1月20日(火)
午後1時～4時
対象 文字入力のできる人
受講料 300円
定員 10人(多数の時は抽選)

携帯電話使いこなし術
日時 1月21日(水)
午後1時～4時

対象 携帯電話をお持ちの人
受講料 300円
定員 10人程度

いずれも申し込みは11月29日まで。
詳しくは志津南市民センターにお問い合わせください。



現在、志津南地区(若草・岡本町西)に住む小学生は120人ほど。私が携わって

いる子ども会も少ない人数で活動していますが、少ないからこそ、子どもたちの生き生きとした姿がよく見えることもあります。

子ども会

「苦勞なまで運び

それは今年試みた田植えと稲刈りの体験。サラリーマンが多い新興住宅地ゆえ、子どももお母さんたちも体験したことのない人たちがほとんど。

苗を植える際、はだしで田んぼに入ったときの泥の感触。小さい手に鎌を持ち一生懸命した

(子ども会 K・M)